

国際村だより

DEWA SHONAI INTERNATIONAL FORUM



日本語教室チームが湯野浜海岸清掃 & サンドアートイベントに参加

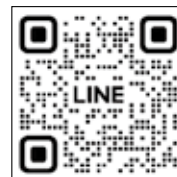


国際村だより もくじ

- P 2・3 : 第 31 回出羽庄内国際村ワールドバザール
- P 4 : 国際村リニューアル施設紹介
サモア展「タロファサモア」
- P 5 : フレンドシップサロン「イタリアの食文化」
Talk! Talk! ENGLISH!
- P 6 : 田川地区市民大運動会参加
オンラインツアー（フィンランド）
- P 7 : [これからのお知らせ]
外国人の在留許可手数料の改定
入管合同相談会 韓国語特別講座
第 15 回日本語スピーチコンテスト in 庄内 来場者募集
- P 8 : せかいの台所レシビシリーズ～インド料理～
せかいの台所「カメルーン料理」のお知らせ、あとがき

国際村 LINE 開設のお知らせ

庄内在住の外国出身の皆さんに、国際村から役立つ情報をお届けします。
右二次元コードから登録してください。



出羽庄内国際交流財団会報

vol. 99

令和 8 年 9 月 30 日 発行

出羽庄内国際村 リニューアルオープン記念

施設内に交流や学び・食文化を通じて人と人をつなぐ新たな交流空間が誕生。この新たなスタートを記念して、スケールアップした出羽庄内国際村ワールドバザールを開催しました。

第31回 WORLD BAZAAR ワールドバザール

2026
6.14(日)

今年は過去最多の2000人以上の方にご来場者いただき、大盛況のうちに終わることができました。中庭では地域在住の外国出身者による12か国の料理屋台が並び、多種多様な異国の味を堪能。ステージでは民族楽器の演奏やダンスなどが披露され、2年ぶりに中国雑技団が登場！華麗な「変面」の技に、会場全体が魅了されました。



▲12か国16ブースの屋台が並ぶ中庭



▲国際交流団体や地域の外国出身の皆さんによる世界の料理模擬店



▲息の合ったキレのあるダンスパフォーマンス



◀ステージの注目を集めた中国雑技団のステージ



▲大盛況のフリーマーケットエリア



▲スタンプラリーを片手に会場内を散策



▲入管制服の着用体験もありました

ワールドバザール 参加・協力団体(順不同)

鶴岡ライオンズクラブ、鶴岡・タイ「子どもの村学園」友好協会、中国倶楽部、鶴岡田川地区日中友好協会、鶴岡ラフォー友好協会、出羽庄内国際村日本語教室、金魚の会、庄内日独協会、協力隊を支援するやまがた地球家族の会、JICA山形デスク、庄内町国際交流協会、(公社)鶴岡青年会議所、国際ソロプチミスト鶴岡、羽黒高校英会話部、鶴岡市スポーツ課、だがしや楽校、仙台出入国在留管理局、さくらスタジオ双葉オカリナウクレレ教室、シンメトリーズ、Te・Tiare Nui フラ&タヒチアンダンススタジオ、きそば楽団リバイバル、ハウオリフラススタジオ、二胡迷、OGC HIPHOP教室、PPI Yamagata、Gospel Gleamers、在日本大韓国民団山形県地方本部 庄内支部、鶴岡市、鶴岡食文化創造都市推進協議会

前夜祭

国際村のど自慢大会



ワールドバザールの前夜祭では、第3回「国際村のど自慢大会」が開催され庄内地域に在住のミャンマー、コロンビア、インドネシア、ボリビア、マラウイ、インド、フィリピン、タイ、日本の9カ国、計15組の皆さんが自慢の歌声を披露しました。日本の曲だけでなく出場者の母国の歌もあり、多言語・多文化の歌声が会場いっぱいに響きました。

出場者の中には歌の主人公にすっかりなりきったコスチュームや、母国の旗をマントのように羽織って歌う人、お友達のダンサーを引き連れてステージを盛り上げる人などいて、それぞれが力のこもった演出を披露。会場の観客も二次元コードで好きな歌手に投票し、楽しみながら審査に参加しました。

今年は国際村リニューアル記念ということもあり、審査中には中国雑技のミニ公演が行われました。また今年も鶴岡ライオンズクラブ様より電子レンジや扇風機といった豪華賞品を、出場者全員には鶴岡食文化創造都市推進協議会様より参加賞として「麦切」をご提供いただきました。

チャンピオンはインドネシア出身の留学生、「ヨミタ&チコ」のお二人。表現力豊かなデュエットの歌声で会場を魅了してくれました。

言葉や国、文化に関わらず、音楽は世界中で愛されていますが、ワールドバザールにふさわしく、誰もが楽しめる国際色豊かな一夜となりました。

チャンピオン ヨミタ&チコさん

チコさんよりコメント (インドネシア出身・鶴岡市在住)

友達のヨミタさんに誘われて、参加を決めたのど自慢大会。私たちは忙しかったので、数回しか練習できませんでしたが、前にも同じグループで一緒に歌ったことがあったので、それほど難しくはありませんでした。

大会でたくさんの人に会えるのがとても楽しみでしたし、他の参加者の素晴らしいパフォーマンスにとっても感動しました。主催者と観客の皆さんが

とても親切に温かく迎えてくれたおかげで、イベントはとても楽しかったです。たくさんの新しい人に出会い、新しいつながりを作ることができ、とても思い出に残る経験になりました。

ご挨拶と皆さまへのお礼
実行委員長より

佐藤 満也 さん (鶴岡田川地区日中友好協会)



今年の第31回ワールドバザールは天候にも恵まれ、また旧アマゾン民族館スペースがリニューアルオープンしたこともあり、2千人を優に超えるたくさんの方々からご来場いただきました。まずもってご来場された皆様に心より感謝申し上げます。そして「来場者の皆様の喜びが私たちの一

番の喜び」をモットーに、3か月前から実行委員会を立ち上げ、担当ごとに何度か打ち合わせを重ね準備に当たられた実行委員の皆様、スタッフ、関係団体、そしてボランティアの皆様のご尽力に敬意を表しますとともに深く感謝申し上げます。

今回実行委員長という立場で関わらせていただき、改めてワールドバザールの自由で楽しい雰囲気を実感しました。何よりも国際色豊かなステージ発表、世界の料理の食べ比べ、また館内での国際交流関係団体の活動紹介や体験コーナーなど鶴岡に居ながらにして海外体験できる素晴らしいイベントだと思います。

現在、世界情勢は複雑さを増しておりますが、私たち民間レベルでの国際交流が平和に繋がるということを心に刻み、来年以降もワールドバザールが盛大に開催されますことを楽しみにしております。皆様本当にありがとうございました。

国際村リニューアルオープン

キッズコーナーも
あります♪

旧アマゾン民族館エリアを中心に大規模なリニューアル工事を行い、今年の6月より新スペースの利用がスタートしています。

誰でも自由に利用できる「交流スペース」をはじめ、移動式ステージや大型ミラーを備え、さまざまな用途での利用が可能な「多目的室」、調理台が6台に増設された「調理室」など、新たなスペースが整備されました。

さらに、利用区分が1時間単位となり、これまでよりも気軽に利用しやすくなりました。ぜひご利用ください！

▼施設使用料が下記の通り変更になりました。

施設使用料

(1時間あたり)

区 分		基本使用料	冷暖房費
国際村 ホール	平日	4,100	1,520
	土・日・祝日	5,290	
多 目 的 室		1,350	580
調 理 室		830	340
研 修 室 1		430	340
研 修 室 2		370	230
研 修 室 3		250	230
和 室		710	580
楽 屋		180	230
パントリー		170	230

※営利を目的とする場合は、割増料金となります。
 ※使用時間には、準備と片付けの時間を含みます。
 ※1時間未満のご利用でも、1時間分として料金を計算します。



交流スペース



多目的室



設備使用料やその他の詳細については、上記QRコード(国際村HP)よりご覧いただけます！



調理室

見て・聞いて・体験する

サモア展

「タロファサモア」を開催しました

～南太平洋の島国の生活を知る～

7月31日(金)から8月8日(土)の日程で国際村で開催したサモア展。サモア展の主催者である一般社団法人ルマナイサモアの板垣暁歩さんより、今回のサモア展についてご寄稿いただきました。

今回のサモア展会場では、写真や民族衣装、伝統工芸品などを展示し、南太平洋の島国サモアの文化や暮らしをご紹介します。期間中は100人を超える皆様にご来場いただき、幅広い世代の方々にサモアの魅力に触れていただく機会となりました。また、8月1日には、サモアの伝統的な絵付け技法「エレイ」を体験するワークショップを開催し、19人の皆様にご参加いただきました。参加者は、好きなサモアの伝統模様のステンシルを選び、思い思いの色でオリジナルトートバッグを制作しました。同じ型紙でも色使いや表



現が異なり、一人ひとりの個性あふれる作品が完成しました。ルマナイサモアは、南太平洋の島国サモアで教育や健康分野を中心とした国際協力活動に取り組んでいます。現地の人たちが本当に実現したいことや解決したいことに向き合い、私たちはあくまでそれを「手助けする立場」で関わる、そんな価値観をメンバー全員が共有しています。

今回の展示とワークショップを通じて、遠く離れたサモアをより身近に感じていただくとともに、国際交流や異文化理解について考えるきっかけを提供できたことを大変嬉しく思います。今後も山形県内でこのようなイベントを継続的に開催してまいります。最新のイベント情報は、ホームページやFacebook、Instagram、Xで発信しておりますので、ぜひご覧いただき、次回のイベントにもお気軽にご参加ください。これからも山形とサモアをつなぐ架け橋として、多くの皆様とお会いできることを楽しみにしております。

フрендシップサロン

『イタリアの食文化』を開催しました！

フрендシップサロンは、外国出身の方や様々な分野で海外などで活躍されている方をゲストにおむかえして、おいしい飲み物をいただきながら異文化理解を深める“お話サロン”です。5月23日(土)に今年度第1回目のフрендシップサロンを開催しました。

ゲストスピーカーに羽黒高校に在籍するレベッカ・カイアツツさんをお迎えし、「イタリアの食文化」についてお話しいただきました。



レベッカ・
カイアツツさん

地域ごとに特色ある食文化が育まれ、世界的に「美食の国」として知られるイタリア。その食文化の魅力についてレベッカさんがたっぷりと紹介してくれました。イタリアを代表する料理であるパスタとピザ。「イタリアには600を超えるパスタ

の種類があり、ピザ屋は12万店舗以上ある」という説明には驚きの声があがっていました。食事の際のテーブルマナーや地域による食文化の違い、さらにレベッカさんの故郷であるサルデーニャ島についても、写真を交えながら詳しくお話くださいました。最後には本場のカルボナーラのレシピも紹介され、会場からは「おいしそう」「食べてみたい」という声が多く聞かれました。



中高生向け英語特別講座

6/20
(土)

World Communication Club × Youth in Action
Talk! Talk! English!

アメリカ・コロラド州からの青年訪問団「Youth in Action (YIA)」が来鶴するタイミングに合わせて、ワールドコミュニケーションクラブとの合同企画として昨年から開催しています。当日は、YIAのメンバー6人、WCCのメンバーと一般参加者15人が参加し、計21人の同世代の子どもたちが交流を楽しみました。

今回のアクティビティは新聞紙を使ったファッションショー。アメリカ人と日本人混合の4グループに分かれ、みんなでアイデアを出し合いながら、それぞれ服のコンセプトやデザインについて相談しました。

その後は材料の買い出しに行き、相談する場面でも



自然と英語での会話が生まれ、楽しみながら英語を使う機会となりました。

国際村に戻ると、いよいよ製作開始。クラブ



ト紙に水色のスプレーを吹き付けて水の流れを表現したり、新聞紙を蛇腹に折って立体的なスカートを作ったりと、どのグループも本物のデザイナーさながらの工夫を凝らした作品を完成させました。

最後は、各グループ代表のモデルが音楽に合わせてウォーキングを披露し、他のメンバーがコンセプトやこだわったポイントを英語で発表すると、会場からは拍手や歓声上がり、盛り上がった雰囲気ですべて終了しました。

今回は、各グループ代表のモデルが音楽に合わせてウォーキングを披露し、他のメンバーがコンセプトやこだわったポイントを英語で発表すると、会場からは拍手や歓声上がり、盛り上がった雰囲気ですべて終了しました。

今回の実施にあたり、コロラド YIA と交流のある米沢 YIA の方々にも当日の運営等でお手伝いいただきました。

子ども達の交流の輪を広げる機会として、このような合同イベントを来年も開催していきたいと思っています。

出羽庄内国際村日本語教室

6/7
(日)田川地区の運動会に
参加しました！

今年も日本語教室は招待を受け、アメリカ、インド、インドネシア、カンボジア、フランス、ベトナム、ルワンダの7ヵ国出身の学習者18人で田川地区市民大運動会に参加させていただきました。玉入れや混合リレー、綱引きなど、各9種目に出場し、10チーム中9位と成績は振るいませんでしたが、学習者同士チームで力を合わせて健闘しました。中でも、グラウンドゴルフリレーは1位と大活躍！時には田川のチーム



▲あっという間に勝負がついてしまった綱引き



▲田川地域の皆さんに混ざって全速力！

に助っ人として入り、地域の皆さんに混じって競技を楽しみました。

運動会後、集落ごとの反省会にも参加した学習者は、「地域の人と交流でき、とても楽しい経験ができた」と喜んでいました。会話を通して、自分達が温かく迎えられていることが伝わってきたそうです。

この運動会には、田川地区の皆さんとの国際交流を深める場として、毎年日本語教室を招待いただき、今年で7回目の参加となりました。会場では、今年もインドネシア料理と中国料理のお店が出店し、様々な国の人たちが運動会を通して交流を楽しみました。田川地区の皆さん、貴重な体験ありがとうございました。

▲質問に答えながら
旧市街へ歩く渡辺さん旅する国際村オンラインツアー
フィンランド・ポルヴォー編

国際村では、コロナ禍で海外との交流が難しくなった令和3年度から3年間、国際村にご縁のあった方々を通して17ヵ国の現地情報をオンラインでお伝えしました。今回、過去のオンラインツアーに何度か参加してくださった渡辺美晴さんから、交換留学で滞在中のフィンランド編を行いたいという申し出があり、7月4日に2年半振りのツアーを開催しました。

事前に作成した資料や画像を用いて、現地での生活の様子を紹介いただきました。渡辺さんが初めてフィンランドに到着した時は1月で、1週間太陽を見ることがなかったそうです。日照時間が短い冬はビタミン不足を補うサプリが欠かせないことや、オーロラは首都のヘルシンキなどでは見られないなど、北欧の生活を垣間見ることができました。近所のスーパーにも出かけ、国民食である牛乳粥パン「カレリアパイ」

▲約3ユーロ（550円）で
取り放題の学食も紹介

やトナカイの缶詰など、フィンランドならではの商品を見せていただき、参加者の皆さんも一緒に買い物をしているような感覚で楽しめました。



▲量り売りで買うスーパーの果物

10/18
(日)

外国人のための合同相談会 in つるおか 出入国在留管理局×出羽庄内国際村

今回初めて、仙台出入国在留管理局と国際村が合同で相談会を開催します。在留資格や在留期間などについて、直接入管のスタッフに相談できる貴重な機会です。周りの外国出身者やこれから外国人雇用を考えている事業者の方々などにもお知らせください。

日時：10月18日（日）10:00～16:00

場所：出羽庄内国際村 1階 多目的室
鶴岡市伊勢原町8-32

対象：庄内在住外国出身者及び同地域にある外国人を雇用しているまたは雇用予定の企業
相談を受ける団体：

①仙台出入国在留管理局（予約制、予約は10月11日（日）まで、1人は30分間程度）

②出羽庄内国際村（予約は要りません）

※通訳は無料で対応します。希望する方は10月10日まで、国際村にご連絡ください。

予約・問合せ：出羽庄内国際村

Tel: 0235-25-3600

E-mail: info@dewakoku.or.jp

2026年10月1日から 外国人の在留許可手数料が 変わります

入管法の改正により在留資格変更・在留期間更新許可の手数料が、10月1日から上がります。金額は許可される在留期間ごとに以下のとおりです。

※詳しくは出入国在留管理局ホームページをご確認ください。

許可期間	申請方法	改定後の手数料
3月以下	窓口	10,000
	オンライン	10,000
3月超6月以下	窓口	18,000
	オンライン	15,000
6月超1年未満	窓口	25,000
	オンライン	21,000
1年	窓口	33,000
	オンライン	27,000
1年超3年未満	窓口	48,000
	オンライン	42,000
3年以上5年未満	窓口	64,000
	オンライン	56,000
5年以上	窓口	75,000
	オンライン	65,000
許可	申請方法	改定後の手数料
永住許可	窓口	200,000

参加者募集！ 韓国語特別講座

美容大国 韓国にいこう！

今回の特別講座は“美容”をテーマに、様々なシチュエーションで実践的な韓国語を練習します。韓国の美容事情に興味がある方はもちろん、日常会話を学びたい方にもおすすめの講座です。学習経験があれば、男女問わず、どなたでも参加できます！韓国出身の講師から、使える韓国語を学んでみませんか？

◆日 時：11月22日（日）13:00～16:00

◆場 所：出羽庄内国際村 ホール

◆対 象：韓国語の学習経験がある方、レベル不問

◆参加費：2,000円（小・中学生1,500円）

◆申込み：10月17日（土）9:00～



前回の
講座の様子

11/15(日)

第15回

入場無料

日本語スピーチコンテスト in 庄内



第14回日本語スピーチコンテストの様子

日時：11月15日（日）10:00～12:30

場所：三川町子育て交流施設テオトル

〒997-1321 三川町大字押切新田字桜木8-1

庄内在住の外国出身者が、日本の生活や日ごろ感じていることを話したり、課題文を朗読したりします。地域外国人住民の生の声が聞ける絶好のチャンスです。たくさんのご来場をお待ちしています。

問合せ：[第15回日本語スピーチコンテストin庄内]

実行委員会事務局 三川町役場 企画調整課

Tel: 0235-35-7013

E-mail: kikakuinfo@town.mikawa.yamagata.jp

せかいの台所 レシピシリーズ



インド料理



講師 サイエッド・サキブさん

(カルナータカ州シドラガッタ出身)

8月9日に開催した「せかいの台所～インド料理～」よりチキン ティッカ マサラ (鶏もも肉のトマトカレーソース煮込み) を紹介します。

Chicken Tikka Masala 【材料 6 人分】



《鶏肉とマリネ液》

- 鶏もも肉 (ひと口大にカット) …900g
- すりおろし生姜・にんにく…各大さじ 2
- レモン汁…1/2 個
- プレーンヨーグルト (無糖) …300g
- カレーパウダー…大さじ 1.5
- 塩…小さじ 1

《カレーソースベース》

- 玉ねぎ (みじん切り) …中 3 個
- トマト水煮缶 (カット) …2 缶
- カレーパウダー…大さじ 2
- 生クリーム…240ml
- バター…50g
- 砂糖・塩…各小さじ 1

作り方

- ① ボウルに鶏肉とマリネ液の材料をすべて入れ、全体がしっかりと絡むようによく混ぜ合わせる。



- ② フライパンにサラダ油をひき、強火で熱し鶏肉の両面に焼き色がつくまで焼く。一度皿に取り出す。



- ③ ②のフライパンにバターを入れてみじん切りにした玉ねぎがあめ色になるまで、じっくりと炒める。生姜とにんにく、カレーパウダーを加え 1 分間炒め合わせる。



- ④ トマト水煮缶を汁ごと加え、全体を一度軽く沸騰させたら弱火にし、ソースにとろみとコクが出るまで約 10 分間煮込む。



- ⑤ ②の鶏肉を、肉汁ごとフライパンのソースに戻し入れ、弱火のまま、さらに約 10 分間煮込む。仕上げに生クリームと砂糖を加えて混ぜ合わせ、塩で味を調える。



あ と が き

出羽庄内国際村に来て 2 か月が過ぎた。ピカピカの 1 年生である (表現が昭和)。庄内弁ネイティブが国際交流の担当だ。鶴岡を離れて生活したことが無いのに大丈夫か？ 周りでは中国語や韓国語で会話をしているのが聞こえる。おもしろい。昨日のカフェ「ふるさと」では 4 人の女性が韓国語と日本語を混ぜて雑談していた。日本語だけ聞き取れるからおもしろい。日本ネイティブもいるのだろう。せかいの台所の会員となり参加した。講師に話しかけるとインドからきた若者は流暢な日本語で答えてくる。何か国語を話せるのかと問うと 7 か国との答えで驚愕した。内訳を聞けばインドの〇〇県の△△語と◇◇県の？？語も含まれていた。何か国語と聞いた自分にはとした。次からは何言語と聞こうと決めた。話せないけど英語、ドイツ語、フランス語、韓国語、中国語の会話ですな、と聞き分けは可能と思っている。庄内弁ネイティブは日本語のようなものと 2 言語を話せるが、せっかくだから秋には外国語講座を受講しよう。何語にしようかな。いつか誰かに聞かれたら 3 言語と答えたい。

事務局長 野口

10/24
(土)

せかいの台所

カメルーン料理

参加者募集



今年度の第 2 回は 8 年ぶりのカメルーン料理です。講師はカメルーン出身で、鶴岡市在住のアレイジェネヴィ エボックさんです。一緒に料理を作りながらカメルーンの文化に触れてみませんか。

※詳細が決まり次第、ホームページ等で情報をお知らせいたします。

- ◆日 時：10 月 24 日(土) 10:00～13:00 頃
- ◆場 所：出羽庄内国際村 調理室
- ◆参加費：1,600 円 (賛助会員は 1 割引き)
- ◆定 員：15 名 ◆持ち物：エプロン
- ◆申込み：10 月 3 日(土)

9 時より電話で受付します。

※申込・問合せ：出羽庄内国際村 Tel 0235-25-3600